

令和5年度 浜松市立光が丘中学校

# 第3回 学校運営協議会



11月2日実施 体育大会

11月17日実施 文化発表会

令和5年12月1日（金） 13:30～

光が丘中学校 会議室

<次第>

- (1) 開会の言葉 13:30 ~ 13:31
- (2) 校長挨拶 13:31 ~ 13:35
- (3) 授業参観（授業内容は下部参照） 13:35 ~ 13:55
- (4) 協議会会長挨拶 13:55 ~ 13:58
- (5) 開催要件の確認及び議長選出 13:58 ~ 14:00
- (6) 熟議事項 14:00 ~ 14:55

①生徒の様子について ~学校行事・授業参観を踏まえて~

②令和5年度地域の協力者による授業支援について（調理補助、講演会）

③学校運営委員会の評価方法について

- (7) 連絡事項 14:55 ~ 14:58
- ・第4回学校運営協議会 令和6年2月5日（月） 13:30~
  - ・教育総務課より

- (8) 閉会の言葉 14:58 ~ 15:00

【 授業参観 】

学級	1 A	1 B	2 A	2 B	3 A	3 B	E F
授業	数学	英語	数学	※助勤対応 のため 公開なし	国語	保体	家庭
担当	小笠原	もと子	大庭		涼恵	野田	磯部
場所	1 A	1 B	2 A		3 A	体育館	E組

Eは発達支援学級（自閉・情緒）、Fは発達支援学級（知的障害）

## 令和5年度 浜松市立光が丘中学校 学校運営協議会 委員名簿

氏名	役職	備考
甘蔗 孝仁	浜松市立光が丘中学校 同窓会長	◎会長
青山 敏郎	人権擁護委員 天竜地区会長	
溝口 玄	竜川ふれあいセンター活動推進委員会 委員長	
笹竹 和行	光明ふれあいセンター活動推進委員会 委員長	学校支援 コーディネーター
松井 章泰	光が丘中学校区青少年健全育成会 会長	○副会長
森下 智子	天竜東地区主任児童委員・民生委員	*新任 ●議長(予定)
實森 浜代	天竜東地区主任児童委員・民生委員	*新任
坂井 久司	龍山地区主任児童委員・民生委員	
鈴木 忠	浜松市立光が丘中学校PTA会長	*新任

- 運営組織の決定について ～ 浜松市学校運営協議会規則第14条3より ～
- ①会長1名を互選により選出する。
  - ②副会長を会長の指名により選出する。
  - ③議長は出席した委員の互選により、その都度定める。

### 【 学校 】

氏名	役職	備考
山下 拓	浜松市立光が丘中学校 校長	
古橋 康浩	浜松市立光が丘中学校 教頭	
高柳もと子	浜松市立光が丘中学校 教務主任	C S担当職員
横山貴美恵	浜松市立光が丘中学校 校務アシスタント	C Sディレクター

令和5年度 第2回 光が丘中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年9月29日（金） 午後1時30分から午後3時15分まで
- 2 開催場所 浜松市立光が丘中学校 会議室
- 3 出席委員 甘蔗 孝仁、松井 章泰、溝口 玄、笹竹 和行、森下 智子  
實森 浜代、坂井 久司、鈴木 忠
- 4 欠席委員 青山 敏郎
- 5 学 校 山下 拓（校長）、古橋 康浩（教頭）、横山 貴美恵（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 横山 貴美恵
- 8 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、会長から坂井委員にお願いしたいとの発言があり、全員異議なくこれを承認した。本日は、坂井委員が議長を務めることとなった。

9 熟議事項

- （1）生徒の様子について ～授業参観を踏まえて～
- （2）中学校の現状における課題について
- （3）令和5年度地域の協力者による授業支援について

10 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）生徒の様子について ～授業参観を踏まえて～

議長の指示により、教頭から、文化発表会延期の件と、別紙資料表紙の写真に基づき、部活動の様子について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 授業参観により、子供達は明るく良い雰囲気だと思った。板書の様子から、どの授業も内容についてよく分からなかった。（溝口委員）
- ・ 6月30日の参観も観たが、その時はICTもよく使い、活発な授業の様子ですごく良かったが、今日の参観は少しトーンダウンした様子で残念だった。（松井委員）
- ・ 1年生は元気が良くて良い。上の学年になるとやや声が小さかった。先生も大きな声で導いてくれると良いのではないか。（實森委員）
- ・ 先生が生徒を出席番号で指名していたが、あれは理解した上で行っていたのか。（会長）  
→意図的に行っていた。その生徒を理解した上での意図的な指名である。（校長）
- ・ 英語の先生は声が良く出ていて良い。（森下委員）
- ・ 英語の先生の教え方が上手だと思った。理科で電池の電圧等一般的なことの質問が出されたが、生徒にはすぐ答えてほしい質問であった。（笹竹委員）

- ・元先生の厳しい意見もあるが、生徒全員が授業に集中していた。調理室はスポットクーラーがついていたものの、やはり暑いようだ。(坂井委員)
- ・授業については、今後も教師と相談して進めていきたい。課題のある子については丁寧に対応する。今回のご意見を教員と共有して対応したい。(教頭)

協議の結果、「生徒の様子について ～授業参観を踏まえて～」は、承認不要とした。

## (2) 中学校の現状における課題について

議長の指示により、校長から不登校の生徒が多いことについて説明があった。

- ・夏休み明けから不登校および不登校傾向の生徒が増えている。
- ・本課題について継続的に課題を取り上げるようにする。
- ・不登校生徒については個々の事情が異なるため、本会議では現状をお伝えしたい。

教頭より現状や対応について下記5点について説明があり、委員からは、それについて、以下の発言があった。

- ・全校生徒183名、月の欠席が5日以上、年間30日以上を不登校とする。  
(不登校の現状省略)
- ・家庭とは週に1回、2週に1回等の定期的な訪問や連絡を、相談の上で行っている。
- ・タブレット等を用いて、学習を進めている子もいる。
- ・すぎのこ教室や、かやのき教室の体験等も紹介をしている。
- ・発達支援教室の設置はできていないが、保健室等を適宜利用している。
- ・不登校の原因は学校で把握できているのか。(会長)  
→明確な原因を特定するのは困難である。個々の事情に応じて、学校として関われる部分で関わっている実情にある。(教頭)
- ・校内適応教室をつくりたいのか、学校に支援員を充てたいのか。(松井委員)  
→将来的には発達支援教室を作りたいと考えている。小学校の時に発達支援教室を利用していたが、中学にはないため相談場所がないと感じている生徒もいる。現在はすぎのこ教室に行っている。教室に入れられない状態。子どもが学校内に来られる状態を作りたい。(校長)
- ・先日ある不登校研修に参加した。学校に来させることは居場所(ができること)になるが、居場所は学校だけではない。学校に来ることを目的にするのではなく、将来自立できるようにすることが目的。原因が家庭にあるのか、いじめなのか、貧困なのか、複雑なので対応は難しい。(坂井委員)
- ・スクールカウンセラー(以降、「SC」と省略)がいることで、学校に来ることはできる子供がいた。保健室等でも良いが、それぞれの子供による対応ができる環境があれば良い。(溝口委員)

- ・先生や大人の人が見守る体制ができれば解決に向かうのかもしれない。(鈴木委員)
- ・先生だけでは対応が難しいとのことで、SCはどのように活躍されているか。(笹竹委員)  
→月1、2回来られて、子供の授業の様子を確認したり、保護者の面談を行ったりしている。(教頭)
- ・校内に支援する場を設けるにはどうしたら良いか。(笹竹委員)  
→昨年度、市の方にそのような教室の設置等の要望を挙げたが、今年度は設置されなかった。人の確保もあるし、なかなか難しい。(校長)
- ・学校に来ている民生委員・児童委員の立場からすると、学校に行くことが難しくなった子に気づくことも難しいし原因も分かりにくい。学校に行かなければいけないのではなく、将来を考えた対応をしていく方向がいいのでは。ゆっくり休ませることが必要な時もある。つらさを話しながら寄り添いたい。進路等がどうなるか気になる。民生委員・児童委員には高齢者の情報はあがるが、子供の情報が入りにくいのは今後の課題である。(實森委員)  
→不登校の子については、その子の実情にあった進路を勧めている。受検して進学する場合もあるし、定時制や不登校だった子の受入体制が整っている学校もある。(教頭)
- ・不登校の原因が多々あり、教師や親も悩んで対応していることが分かった。明確な理由もなく、多岐にわたる。救いの手が何かあればと思う。(森下委員)
- ・発達支援学級、発達支援教室、校外適応教室(現まなびの教室)、校内適応教室がある。発達支援教室から校内適応教室になった学校もある。浜松市内では、そういった教室が増えてきている。協議会委員、地域として、「各役割の中でできることはないか」と考えていただけると有難い。民生委員・児童委員が関わる中で良い方向に向かったケースもある。(教育総務課)

協議の結果、「中学校の現状における課題について」は、承認不要とした。

### (3) 令和5年度地域の協力者による授業支援について

議長の指示により、教頭から別紙資料(8頁)に基づき、令和5年度地域の協力者による授業支援について説明があり、委員からは、それについて、以下の発言があった。

- ・講演会の予定日は決定ということで良いか。(松井委員)  
→決定日と捉えていただいて構わない。(教頭)
- ・光が丘中の生徒に文芸作品を出してもらっている。現在編集集中であるが、国語の先生方にお礼を伝えたい。(溝口委員)
- ・地域や子どもたちも生き生きしてやっているので、ぜひ見に来て欲しい。(笹竹委員)
- ・教育相談員は学期ごとに校長と情報交換をしている。主任児童委員も地域の子供を知るうえで学校を訪問すると良い。正直、学校の敷居は高い。気軽な気持ちで校長に会いに来るくらいのことができれば良い。高校と中学の連携等はどうか。連携することで授業支援の対応ができるのでは。(松井委員)

- 学校から個人情報を出すことは難しいと思われるが、今年度、民生委員・児童委員と学校の情報交換会を復活させたところである。(坂井委員)
- 今年度久しぶりに実施したため、情報交換会の進め方について、以前の状況の明確なものがなかった。今後少しずつ整備できればと思う。(校長)

協議の結果、「令和5年度地域の協力者による授業支援について」は、承認不要とした。

**【その他報告事項等】**

- 司会から、次回会議は、令和5年12月1日（金）午後1時30分から会議室で開催する旨の説明があった。
- 司会から、先日延期となった文化発表会は、令和5年11月17日（金）天竜壬生ホールで午前9時45分より開演する旨の説明があり、委員の方へ参観いただけるよう促した。
- 司会から、第3次浜松市教育総合計画後期計画の実態把握調査について、説明があった。
- 教育総務課から、学校運営協議会の自己評価表について、説明があった。

熟議① 生徒の様子について ～学校行事・授業参観を踏まえて～

A large empty rectangular box with a double-line border, intended for a discussion or report. It occupies most of the page below the header.

体育大会



文化発表会 (合唱コンクール)



熟議② 令和5年度地域の協力者による授業支援について  
(次年度への取り組みも含めて…)

●地域の方々への協力依頼（1）

家庭科の授業（調理実習）の補助 … 調理作業の補助

<b>&lt;令和5年度実施期間&gt;</b>		
9/29（金）	9：30～11：30	リンゴジャム・米粉パンケーキ
10/6（金）	9：30～11：30	〃
10/27（金）	9：30～11：30	煮込みハンバーグ
11/10（金）	9：30～11：30	〃
11/24（金）	9：30～11：30	イワシかば焼き・しいたけ佃煮
12/1（金）	9：30～11：30	〃

- 場 所 光が丘中学校 調理室（教室）
- 対 象 光が丘中学校2年生
- 内 容 ・ 中学2年生の家庭科の調理実習で、調理の補助をお願いした。  
（刃物を使う調理実習で生徒のサポートとして手伝い）



●地域の方々への協力依頼（2）

“天竜の魅力再発見”講演会（生き方、キャリア教育の観点から）  
浜松学院大学講師の「坪井秀次」さんの講演

<演題>

「タイムスリップマネジメント(地域の魅力再発見、生き方・キャリア編)」

- ・天竜の魅力と商店街の回遊性を高める IKOTTO アプリ
- ・課題解決のモノづくり
- ・タイムスリップマネジメント(生き方・キャリア編)

<講師>

浜松学院大学 現代コミュニケーション学部 講師 坪井秀次 氏

- 1 目的
  - ①「天竜の魅力を再発見」できるような視点での講話をいただき、地元愛を高める。
  - ②地元出身者の活躍や生き方を知ることにより、自分の今後の生き方について考える一助とする。
  - ③社会に出るにあたり、「主体的に判断・行動すること」などの重要性について認識するきっかけとする。
- 2 日時 令和5年12月7日（木） 13:30～15:20  
講演会 13:30～14:50 、 生徒振り返り 14:50～15:20
- 3 会場 光が丘中学校 体育館
- 4 参加者 光が丘中学校全生徒（生徒数 183 人） ※在籍生徒数

**※お時間のある方は、参観していただくことが可能です。**

< メモ >

### 熟議③ 学校運営協議会の評価方法について

浜教学総学第7号  
令和5年4月10日

浜松市立小中学校運営協議会長各位

浜松市教育委員会 教育総務課  
学校・地域連携担当課長 鈴木健一郎

令和5年度学校運営協議会自己評価の実施と結果等の報告について（依頼）

春暖の候、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から、本市のコミュニティ・スクールにつきまして御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、学校運営協議会は、浜松市学校運営協議会規則第8条第2項に基づき、毎年度、自己評価を行わなければならないこととなっています。評価に当たっては、別添「学校運営協議会自己評価実施要項」に沿って実施し、結果について下記のとおり御報告願います。

#### 記

- 1 提出物 令和5年度学校運営協議会自己評価表（様式1）⇒ **協議会としての評価を記載するもの。学校から市教委に提出します。**
- 2 提出期限 **令和6年2月末日（最終の学校運営協議会終了後、速やかに）**  
⇒ **2/5（月）に予定している第4回協議会までに、協議会としての評価（案）をまとめるため、12月中に「（様式2）自己評価表」を提出してください。**
- 3 提出先 各学校へ御提出ください。
- 4 その他

**協議会としての** (1) 自己評価は、実施要項、記入上の留意点を参考にし、委員全員で十分に話し合っ  
て進めていくようにしてください。⇒ **第4回協議会で熟議予定です。**

**協議会としての** (2) 自己評価の結果については、CS便りや学校ホームページ等を活用し、広く保護者  
や地域住民等に公表するよう努めてください。

#### 【 各委員へのお願い 】

- ① 「熟議チェックシート」で簡単に振り返りを行いながら、「（様式2）自己評価表」に自分なりの評価をお書きください。なお、「振り返りのポイント」も参考としてください。
- ② 「（様式2）自己評価表」に必要事項をお書きいただき、中学校に提出してください。（12月末までにお願います。）  
※持参、郵送、FAX、Eメールなど、何かしらの形でお願いします。
- ③ 各委員から出された自己評価を基に、協議会としての「（様式1）自己評価表」（案）を作成し、第4回協議会で検討します。
- ④ 意見交換を経たうえで、会長名にて協議会としての自己評価を提出します。

(様式2)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

委員名 ( )

＜本年度の目標＞

※ 協議会で設定した取組目標を記載する。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

※ 参考資料【熟議チェックシート】等をもとに、振り返りを行う。

※ 学校運営の基本方針（自校の学校教育目標や「育てたい力」等）について、協議した内容を簡潔に記載する。

※ 委員個人の意見だけではなく、協議会としての視点で記載する。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

※ 参考資料【熟議チェックシート】等をもとに、振り返りを行う。

※ 成果・課題などを簡潔に記載する。方法論だけではなく、「育てたい力」や「目指す子供の姿」とのつながりをポイントにする。

※ 委員個人の意見だけではなく、協議会としての視点で記載する。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

※ どんな方法による情報発信を行ったか、それによってどのような効果があったのか等を振り返って記載する。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

※ 委員個人の目標だけではなく、協議会全体としての目標を記載する。

(様式2)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

委員名 ( )

<本年度の目標>

- ①「地域を活かした活動」について、教育課程内の無理のない範囲で検討する。
- ②令和4年度の活動を踏まえながら、「学校運営協議会委員と教職員の意見交換」等を行う。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

【 熟議チェックシート 】

委員名 ( )

できている もう少し

評価項目 1			校長の説明を聞いて、分からない用語や疑問に感じたことを質問し、それに対して理解・納得できる回答が得られた。
			基本方針の承認にあたり、校長の説明を聞き置くだけでなく、よりよい学校運営のために建設的な意見を発言できた。
			学校教育目標や学校運営の基本方針についての内容を理解し、共有した。
			学校評価などの評価結果を生かした改善について確認した。
			学校運営について、率直に意見を述べることができた。
評価項目 2			学校の教育目標と学校支援活動とのつながりを意識して、協議会で協議を重ねた。
			熟議の結果、学校、家庭、地域がそれぞれ実行すべきこと、役割分担が明確になった。
			これまで行われてきた学校支援活動についても、教育目標とのつながりや学校、家庭、地域の役割分担を考え、見直すことができた。
			協議会で決定し、実施した学校支援活動について、振り返りや反省を行った。